

平成30年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員200名
申込先着順

会場 北海道経済センター
8F Aホール

〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目
Tel.011-231-1355

平成30年

日時 11/2 (金) 13:00~16:50

13:00~13:10 **開会の辞**

北海道土木技術会 鋼道路橋研究委員会
委員長 松本 高志

第1部:技術発表会

13:10~13:50 1.「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

(※)設計小委員会 設計部会 三宅 隆文

13:50~14:30 2.天城橋(仮称:新天門橋)の工事報告

～鋼PC複合中落式アーチ橋の施工～
(ケーブルエレクション斜吊工法,台船曳航直下吊工法)

(※)架設小委員会 架設部会 山田 朗央

14:30~14:40 **休憩**

14:40~15:20 3.トルコ、イズミット湾横断橋の工事報告

～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～

(※)海外事業委員会 田中 剛

15:20~15:35 **橋建協報告**

～これからの墜落事故防止対策～ (※)安全委員会

15:35~15:45 **休憩**

第2部:特別講演会

15:45~16:45 「橋の設計基準の話をしませんか？」

埼玉大学
大学院理工学研究科
教授 奥井 義昭



16:45~16:50 **閉会の辞**

(※)橋梁技術発表会 実行委員会
委員長 上原 正

申込方法 ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受け」まで
(受付は平成30年9月21日~10月19日)

申込期限 平成30年10月19日(金)

連絡先 鋼道路橋研究委員会 講習・講演小委員会
担当 小笠原 TEL 011-241-4948
日本橋梁建設協会 北海道事務所
担当 土井 TEL 011-232-0249

継続教育 土木学会認定CPD(継続教育)プログラム(予定)

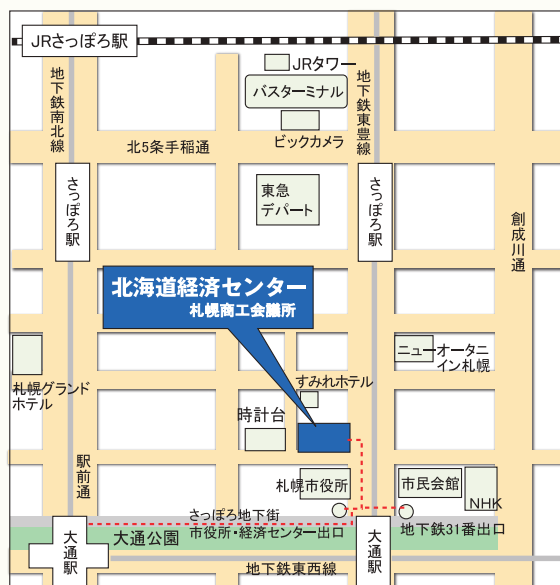
他地区 大阪地区は 10月 5日(金) ドーンセンター
中部地区は 10月12日(金) 東建ホール・丸の内
九州地区は 10月26日(金) レソラNTT夢天神ホール
東北地区は 11月16日(金) 仙台国際センター
東京地区は 11月21日(水) 銀座プロッサム

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)及び発表PPTは、当日配布しておりません。ホームページに掲載しますので、必要に応じて各自ダウンロードして持参して下さい。

アクセス



- 地下鉄南北線・東西線大通駅より 徒歩7分
- 東豊線大通駅より 徒歩2分
- さっぽろ地下街北大通西2丁目「市役所・経済センター出口」より 徒歩1分

(※)は、(一社)日本橋梁建設協会

1 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

「合成桁の設計例と解説」は、鋼橋設計の入門書として多くの方々にご利用頂いておりますが、この度、H29年の道路橋示方書改定に合わせて13年ぶりに改訂いたしました。今回の道示改定では、設計供用期間として100年を標準とすることが定められ、設計手法も従前の許容応力度設計法から部分係数設計法へと大きく変わりました。また、設計に求められる要求性能も耐荷性能、耐久性能、その他性能に大別され、耐荷性能の照査については、最大断面力を二つの限界状態で照査するなど、今までになかった全く新しい概念が導入されています。これらに準拠した改訂版のポイントや留意点について執筆者が分かり易く解説します。

2 天城橋(仮称:新天門橋)の工事報告

～鋼PC複合中路式アーチ橋の施工～(ケーブルエレクション斜吊工法,台船曳航直下吊工法)

天城橋は、熊本天草幹線道路の一部として建設された鋼PC複合中路式アーチ橋であり、橋長は463m、アーチ支間は350mである。アーチリブは鋼製のソリットリブ、中央径間部は鋼補剛桁、両側径間部はRC橋脚と剛結したPC桁で構成され、鋼補剛桁とPC桁の複合構造を有する。

架橋条件からケーブルクレーン(鉄塔高88m、スパン500m)を建設し、アーチリブはケーブルエレクション斜吊り工法にて架設した。中央径間部の鋼補剛桁は、工場地組した大ブロックを台船輸送し、アーチリブに吊上げ設備を設置して直下吊工法にて架設した。両側径間のPC桁施工後、PC桁先端に接合桁(鋼部材)を施工し、実測反映した閉合桁を落し込み架設し、本体施工を完了した。

3 トルコ,イズミット湾横断橋の工事報告

～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～

2016年7月,世界有数の地震地帯であるトルコに世界第4位の長さを有するイズミット湾横断橋(正式名称:オスマン・ガーズィー橋)が開通した。本工事は上下部一括のデザインビルドであり,海底40mの軟弱地盤への海中主塔基礎の設置など厳しい条件の中,わずか施工期間3.5年で開通にこぎつけた。発表では,耐震性の確保と短納期での完工を両立させた構造上,施工上の工夫などについて紹介します。

特別講演会 講演者紹介

「橋の設計基準の話をしませんか？」

奥井 義昭 埼玉大学 教授

—専門分野—

応用力学,構造工学,橋梁工学

—略歴—

1985年3月 埼玉大学 大学院理工学研究科終了 修士

1985年4月 川崎重工業入社

1989年4月 埼玉大学 助手

1993年4月 埼玉大学 助教授

2009年4月 埼玉大学 教授

現在に至る

講演概要

この講演では橋梁の設計基準に関して、日々、橋梁の計画、設計、施工、維持管理に携わっている方々と、オープンに議論したいと思ってます。

例えば以下の様な内容です。

- 設計基準のあるべき姿は？
- どんな機能が必要か？
- 限界状態設計法のメリットは？
- 維持管理はどうする？
- 国外基準ではどうなっているのか？

上記のようなトピックについて話題提供をさせていただきます。

平成30年度

11月2日(金)

橋梁技術発表会

[北海道地区]

参加申込方法



 一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.jasbc.or.jp/>「技術発表会」
の申し込みはこちら。